

案件

デジタル田園都市国家構想交付金を活用する取り組みについて

企画政策室 企画課

1. 政策等の背景・目的

国においては、デジタルの力を活用し、地方の地域課題の解決・魅力向上を図ることで「全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会」をめざす「デジタル田園都市国家構想」を掲げ、その取り組みを進めています。

この構想の実現に向けた支援制度への申請を行った結果、採択を受けたことから、交付金を活用し、市民をはじめ来訪者へのサービス向上に向けたさらなる取り組みを推進するものです。

2. 「デジタル田園都市国家構想交付金」活用事業

ICT 機器の普及に対応し、デジタル環境の整備を図るとともに、ポータルサイトを構築します。

①公共施設へのフリーWi-Fi、デジタルサイネージの導入

公共施設にフリーWi-Fiを導入し、インターネットへの気軽なアクセスを可能にすることで利便性の向上を図ります。また、生涯学習市民センター等市民の学習を支える施設においては、WEBを活用した講座等が容易となり、学びの幅を広げます。

タッチパネル式のデジタルサイネージの導入では、各施設のフロアガイドやイベント情報などをわかりやすく案内するとともに、市政情報を効果的に発信します。

<導入予定施設>

市役所本庁舎（本館・別館）	生涯学習情報プラザ※
3支所（津田・香里ヶ丘・北部）	野外活動センター※
総合文化芸術センター（本館・別館）※	サプリ村野 NPO センター
南部生涯学習市民センター※	中央図書館
生涯学習市民センター・図書館※ （さだ、牧野、菅原、楠葉、津田）	ラポールひらかた
御殿山生涯学習美術センター・図書館※	総合福祉センター※
枚方公園青少年センター※	ニッペパーク

(※) は今回の事業によりデジタルサイネージを設置する予定の施設です。

その他の施設については、公民連携による実証実験等により既にデジタルサイネージが設置されています。

②ポータルサイトの構築

歴史・観光情報等を利用者視点で案内できるコンテンツを含むポータルサイトを構築し、広く市民をはじめ来訪者の利便性の向上、にぎわい創出を図ります。さらに、生涯学習市民センターをはじめとする各施設で開催される教室やイベント情報等を案内し、学びの場への参加を促します。また、本交付金の活用により、電子書籍を充実させ、ポータルサイト内に電子図書館を設置することで、読書活動の推進を図ります。

ポータルサイトは、多言語対応、公共施設でのフリーWi-Fi 接続時に表示されるしくみとすることで、施設内や施設周辺の情報提供にも活用します。あわせて災害時の緊急情報を発信する機能等についても搭載していく予定です。



3. 想定スケジュール

	R5 6月～9月	10月	11月	12月	R6 1月	2月	3月	4月～
Wi-Fi、デジタルサイネージの導入	仕様検討・契約	フリーWi-Fiの設置、デジタルサイネージの設置				運用開始		
ポータルサイトの構築		ポータルサイトの構築				運用開始		

4. 総合計画等における根拠・位置付け

総合計画

計画の推進に向けた基盤づくり

計画推進2 市民による活発なまちづくり活動を支援します



5. 関係法令・条例等

まち・ひと・しごと創生法

6. 事業費・財源及びコスト

《事業費》 186,780千円（令和5年度当初予算計上済み）

支出内訳 デジタル環境整備に係る委託料等：155,580千円

電子図書等の購入に係る備品購入費：31,200千円

《財 源》 デジタル田園都市国家構想交付金：93,390千円

一般財源：93,390千円

7. その他

国においては、デジタル田園都市国家構想を含む地方創生を推進しており、令和4年12月に「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を抜本的に改訂し、新たに「デジタル田園都市国家構想総合戦略」が策定されました。

本市においては、「第2期枚方市まち・ひと・しごと創生総合戦略」が令和5年度末に終期を迎えるため、国の新たな総合戦略を踏まえ、令和6年度を始期とする新たな地方版総合戦略の策定に向けて準備を進めていきます。